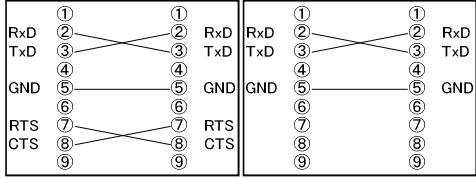


【RS-232C/USB (COM)】 計測器との通信がうまくできない時のチェックシート

計測器がリモート状態にならない時

No.	確認内容	確認結果
1	<p>正しい接続ケーブルを使用していますか？ インターリンク用結線かクロス結線を使用してください。</p> <p>※RS-232Cのケーブルには下記の3種類があります。</p> <p>①ストレート結線 ②インターリンク用結線（ハードフロー制御機能使用時） ③クロス結線</p>  <p style="text-align: center;">▲インターリンク用結線 ▲クロス結線</p>	
2	9pin-25pin変換機を使用している場合	
3	内部でストレート、クロス結線の場合があるので、使用するケーブルと組み合わせた状態でクロス結線となっているか確認してください。	
4	<p>【RM3544, RM3545】 USB (COM)にて使用する場合、専用のドライバをPCにインストールする必要があります。 HIOKI製のUSBドライバが正しくインストールされているか確認してください。 「プログラムのアンインストールまたは変更」の一覧に以下の項目があるか確認してください。</p> 	
5	COMポート番号を確認してください。 Windowsではデバイスマネージャーで確認可能です。	
6	【RM3544, RM3545】 測定器本体のI/F(インターフェース)の設定が“RS232C”に設定されていますか？ USBを使用する場合、“USB COM”に設定されていますか？	
7	【3541】 測定器本体のI/F(インターフェース)の設定が“rS”(RS232C)に設定されていますか？ “Prn”に設定されている場合はプリンタの設定なので正しく通信できません。	

通信設定の確認

No.	確認内容	確認結果
8	通信スピードは合ってますか？ パソコンと計測器の設定同じにしてください。	
9	データビットは「8」、パリティは「なし」、ストップビットは「1」になってますか？	
10	ターミネータはパソコンと計測器で同じ設定になっていますか？（「CR+LF」）	
11	PLCを使用している場合は、初期設定が上記と異なる場合があるので確認してください。	
12	PLCでのプロトコル設定は、ASCII無手順に設定してください。	
13	PLCで送信データ長が任意に設定できない場合は、不要部分をスペースにて埋めてください。	

通信確認

No.	確認内容	確認結果
14	HIOKI HPでダウンロード可能なフリーアプリで計測器と通信できるか確認してください。	
15	「Teraterm」等のターミナルソフトで計測器と通信できるか確認してください。	
16	通信ソフトを自作される場合は、付属CDのサンプルプログラム(Visual Basic)を参考にしてください。	

こんな時は？

No.	確認内容	確認結果
14	計測器本体から「ピッ！」と音がする場合、コマンドエラーまたは実行エラーが発生していますので、以下を確認してください。 ・コマンドの綴り ・コマンドを1つずつ送り、どこでエラーが発生しているか確認 ・通信スピードやデータビット	

それでも解決できない

No.	確認内容	確認結果
15	パソコン、計測器本体を再起動してみてください。 ドライバ等をインストールした後、COMポート番号を変更した後など改善される場合があります。	